

## 日常生活圏内における新幹線需要予測モデルの開発

柴田宗典 武藤雅威

新幹線はわが国の地域間交通を担う主要な高速交通機関であり、旅客流動データの収集や需要に関する研究は地域間の中・長距離利用の需要を中心に積極的に行われてきた。一方で、新幹線が通勤や買物等に日常的に利用される地域の足として定着する事例も数多く見受けられるが、利用実態を捕捉しているデータは希少であり、分析・予測の方法論に関して十分な研究蓄積があるとは言いがたい。そこで本研究では、新幹線、特急列車等を利用する旅客を対象とした利用実態調査により、日常生活圏内の新幹線の旅客需要も多く存在し、主に他の交通手段からの需要転換により新幹線の利用が促進されていること等の需要特性を分析するとともに、新幹線定期券および日常生活圏内定期外の旅客需要を推計する需要予測モデルを開発し、将来的に新幹線が開業する地域を対象に、新幹線駅の郊外設置が日常生活圏内の旅客需要に与える影響等の需要シミュレーション例を示した。

(鉄道総研報告, 2009年8月号)

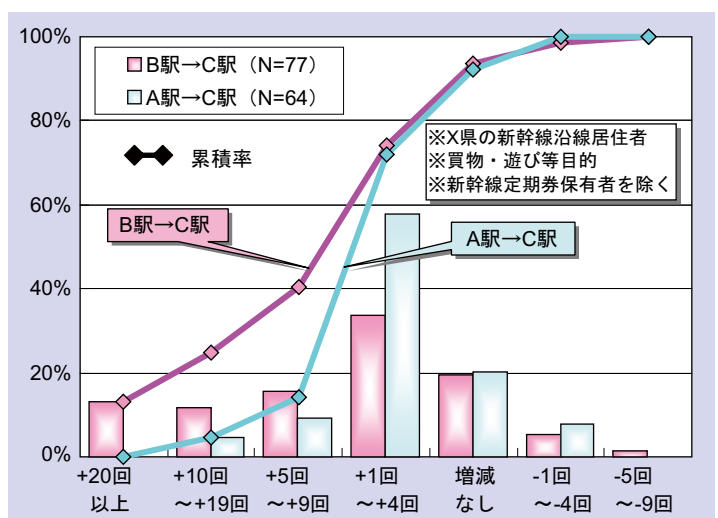


図 新幹線の開業による優等列車利用頻度の変化 (X県内)